

事務事業評価表(既存事業)

コード 4-1-2	事務事業名 男女平等情報誌作成事務	所管部課 市民生活部生活文化課					
事務事業の概要	事務事業の目的 男女平等参画社会を実現するためには、一人ひとりが男女平等について理解する必要がある。そのために男女平等に関する情報の提供・発信を行う。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)男女平等参画社会の推進(1-3) (主要施策)男女平等意識の啓発・普及					
	実施内容、実施方法 公募市民編集委員が企画から運営までに携わり、市民の視点を大切にしながら共感を得られるよう、多面的な角度から男女平等に関する情報提供を行っている。配布については事務局で行っている。	根拠法令等 ・西東京市男女平等参画推進情報誌編集委員会設置要綱 ・西東京市男女平等参画推進計画					
事業開始時期 平成 13 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )							
評価指標の設定	活動指標名 会議回数	活動指標の考え方(定義) 情報誌作成のための編集会議回数					
	発行部数	情報誌発行部数					
	成果指標名 配布部数	成果指標の考え方(定義) 情報誌を配布した部数					
	関心度	男女平等について関心をもてた割合(アンケート回収した中の数値)					
事務事業データ			単位	14年度	15年度	16年度	17年度
	事業費(A)		千円	1,241	1,082	1,259	9,720
	国庫支出金						
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			1,241	1,082	1,259	9,720
	所要人員(B)		人	0.50	0.50	0.40	0.40
	人件費(C)=平均給与×(B)		千円	4,123	4,137	3,331	3,331
	総コスト(D)=(A)+(C)		千円	5,364	5,219	4,590	13,051
	単位当たりコスト (E)=(D)/( 会議回数 )		千円	206	137	143	
	歳入		千円				
	活動指標	目標値	回			30	
		実績値	回	26	38	32	
活動指標	目標値	部			36,000		
	実績値	部	36,000	36,000	36,000		
成果指標	目標値	部			34,416		
	実績値	部	31,824	31,276	22,416		
成果指標	目標値	%					
	実績値	%					
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	気軽に読んでいっうちに大事なエキスが心に浸み込む情報を中学生が読んで楽しめる 教え込むより一緒に考えられるものを希望します。					
	国・都・他市・民間等における類似事業	国は男女共同参画推進本部ニュース、都は東京ウィメンズプラザニュースを発行。また、26市中24市で男女平等情報誌・女性センターニュース等を発行している。女性と仕事の未来館では、アンケートや感想を一定期間に送ると抽選でプレゼントがあるが発行部数に対して約0.4%の回収率。					
	運営上の制約条件・外部要因等						

コード 4-1-2	事務事業名 男女平等情報誌作成事務	所管部課 市民生活部生活文化課
--------------	----------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	情報誌は、公的施設へ足を運ばないと手にすることができないことから、全戸配布の要求が高い。しかし、現状でできることから今年度は公的施設だけではなく、市内事業所への配布も実施した。今年度、中学生への配布をしなかったことから発行部数に対して63%しか配布できなかった。アンケート用紙が小さすぎて落ちてしまったり、感想を書くだけの用紙なので、回収は無いに等しい。今後アンケートの取り方等について検討したい。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	男女共同参画会議では、男女共同参画社会の実現にはなお一層の努力が必要であるとされ、女性も男性もすべての個人が、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる男女平等参画社会の実現のためにさまざまな形で情報提供していくことが望まれている。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	市民公募の編集委員会で企画・編集・発行まで担うので、担当職員1人の配置で情報誌作成を行った。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	市民公募の編集委員会で編集しているので公平性には問題はない。しかし、配布については、好むと好まざるに関係なく誰でもが居ながらにして情報を受け取れる必要があるため、全戸配布したほうがより望ましい。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	手にとって読みたくなるような情報誌。中学生が読んで楽しみ、一緒に考えられる内容になっているか、編集委員会で検討しながら紙面づくりを考える。

17年度における改善点	できるだけ多くの市民の手に渡るように、情報誌配布等のサポーター制の検討をする。 アンケート用紙の大きさをA5版にし、回答しやすいアンケート用紙にする。 文字を大きく読みやすくする。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。